

母と子のコミュニケーションを図る育児用
ビデオ（DVD）作成事業

実 施 報 告 書

平成 19 年度

社団法人日本助産師会

平成 19 年度独立行政法人福祉医療機構「子育て支援基金」（一般分）

助成事業

はじめに

戦後のわが国は、高度経済成長を経、都市化、工業・商業主義化、情報化が進行し、子どもを取り巻く環境も核家族化、少子化、近隣との人間関係の希薄化等が自然な子どもの発達環境の崩壊、家庭の養育機能の低下を招来している。

1960年代にジョン・ボルビーは、子どもの心の発達について親と子の絆としてのボンディングの重要性を提唱している。

また、ロビン・カー・モズメイス・S・ワリ-らはその著「育児室からの亡霊」で乳幼児期の子どもの発達には、遺伝・生物学的要素や出産時外傷等の要因と養育者の態度等の育児環境等の社会的要因が関与し、出産後数ヵ月間の関わりが特に重要であると述べている。

また、社会的要因としての養育者のあり方に関して、成長してからの暴力防止につながる養育者との安定した愛着形成（①他者への共感、②ネガティブな情動を制御し心を均衡させることを学習する機会、③高次の認識処理能力を発達させる機会）の重要性を説いている。

最近、キレル子ども、キレル大人が多くなり、学級崩壊、子ども虐待、DV、子殺し、親殺し等々大きな社会問題になっている。特に、子ども虐待の悲惨なニュースは毎日のように流れている。

その原因は、胎児期・乳幼児期の養育者との関係までさかのぼることができる。この時期の親の授乳・抱く、あやす等の愛情たっぷりの養育者の子どもへの接し方やスキンシップ等がその子の一生のこころのあり方を方向付け、子どものこころを育む。子どもは、養育者（母親）との関わりを通じて、他者に対する信頼感・共感を学び、エリクソンのいう原信頼を獲得する。また同時に、泣くことにより赤ん坊は、素直にお腹がすいた、オムツが気持ち悪い、抱いて欲しい等々の自分の気持ちを表現し、それをまた母親が受け入れ、応えていくことにより、「自分が自分であっていい」という自己信頼感あるいは自己肯定感を獲得していく。これらにより、子どもは、人生を肯定的に捉え、他者とのポジティブな人間関係を築いていく心の原点とも言うべきあり方を学びとっていく。

また、9歳までの間に、心のブレーキとも言うべき抑制力の育成上も家庭における養育者のしつけともいうべき関わり方の重要性が言われている。²⁾ ³⁾

この重要な母親の乳幼児期の子どもへの接し方・関わり方は、従来親から子に、子から孫にと家族間でまた、近隣の地域住民との間で伝承されてきた子育て文化ともいうべきものである。都市化、核家族化等に伴いこれらの文化が継承されにくい現状がある。

このような現状を鑑み、この度、独立行政法人日本福祉医療機構の「子育て支援基金」（一般分）助成を受け、養育者への教育支援教材として胎児期から乳幼児期の子どもへの関わり方・スキンシップの重要性をといたビデオ教材（DVD）「ふれ愛」を作成した。

子育て支援の関係者をはじめ、養育者の皆様に広く活用いただき、楽しい育児が広がり、子ども虐待が1例でも防止され、すべての子どもの心の健全な育成がなされることを心から願っている。

目次

はじめに

I	母と子のコミュニケーションを図る育児用ビデオ（DVD）作成報告	
1.	ビデオ作成の目的	1
2.	ビデオ作成検討委員会	1
1)	設置目的	1
2)	検討委員会構成	1
3)	検討委員会開催日時及び内容	2
4)	制作スケジュール	8
5)	作業経過	9
3.	ビデオ（DVD）作成シナリオ	11
4.	チャプター区画面像の解説	23
1)	新生児編	24
2)	乳児編	30
II	主な用語の説明	
1.	カンガルーケア	37
2.	赤ちゃんへのほれ込み（巣ごもり現象）	37
3.	マザリーズ	37
4.	ソーシャルレファレンシング（大人への確認）	37
5.	安定型愛着	38
III	DVD使用解説	
1.	操作方法	39
2.	使用圏内	39
IV	送付先一覧	40
V	引用・参考文献	41
VI	資料	43
	おわりに	

I 母と子のコミュニケーションを図る育児ビデオ（DVD）作成報告

1. 【ビデオ作成の目的】

平成15年度日本子ども虐待防止研究会教育講演において、平成12年度年間180例の虐待死が推定され、約半数は生後0—2ヵ月であることが報告された。

死亡に至らなくても、この時期のネグレストが成長後に及ぼす影響は深刻であることが明らかにされている。また、精神障害の殆どが人間関係の生涯と言われているが、その関係性は出生後からのボンディング形成による「情緒的応答性」により培われることが明らかにされている。

一方母親は、核家族化の現在、母親のモデルが無いまま反応の乏しい生後2ヵ月頃までの我が子への対応に直面し、心の子育てを重視したストレスの多い子育てをスタートさせていることが多く、ボンディング形成に関する母親への教育支援が必要であり、その際、効果的な視覚教材が求められている。そこで、今回ボンディング形成を促すことにより、情緒的応答性が培われる子育てや子ども虐待といった育児の危機的な状況を少しでも改善するために、妊婦及び子育て中の母親及び家族へ、映像により児のサインの読み方と親子のコミュニケーションのあり方が具体的に伝えることが出来る視覚教材として、母と子のコミュニケーションを図るビデオ（DVD）を作成した。保護者をはじめ子育てに関るより多くの皆様に活用されるよう、その普及にも努めたい。

2. 【ビデオ作成検討委員会】

1) 設置目的

子ども虐待防止と子どもの心を育むビデオ（DVD）教材作成事業に当たり、ビデオのシナリオ作成及び作成等に関する検討会を行う。

2) 検討委員会構成

委員長	岡本喜代子（本会副会長）
副委員長	菅沼美奈子（日本助産師会京都支部理事）
副委員長	加藤尚美（本会専務理事）
委員	長谷川喜久美（日本助産師会思春期相談員）
委員	岡田啓子（日本助産師会思春期相談員）
委員	渡辺久子（慶応義塾大学医学部小児科講師）
委員	越山茂代（助産院院長、前JALC代表）
委員	藤井智子（助産院勤務助産師）
委員	江角二三子（職員）
委員	増田美恵子（職員）

3) 検討委員会開催日時および内容

<第1回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時 : 平成19年6月5日(火) 10:00~12:00

場所 : 日本助産師会2階会議室

出席者: 岡本委員長、菅沼副委員長、加藤副委員長、渡辺、長谷川、岡田、越山、藤井
江角、増田

10:30~11:30 ビデオ制作会社の出席3名あり

書記 : 増田(事務局)

1. 本事業の概要説明

岡本委員長より本事業の概要について資料に沿って説明。

「より良い母子関係、親子関係を構築することにより育児の危機的状況を改善し、子ども虐待を予防することに繋がる。妊婦と子育て中の母親及びその家族に対して、親子のより良いコミュニケーションの取り方を具体的に指導する育児用教材を作成し、市町村保健センター等関係機関に配布する事業である。」

2. 委員の紹介

岡本委員長より各委員の紹介。

委員長 岡本喜代子 (日本助産師会副会長)
副委員長 菅沼美奈子 (日本助産師会京都支部理事)
副委員長 加藤尚美 (日本助産師会専務理事)
長谷川喜久美 (日本助産師会思春期相談員)
岡田啓子 (日本助産師会思春期相談員)
渡辺久子 (慶応義塾大学医学部小児科講師)
越山茂代 (助産院院長、前 JALC 代表)
藤井智子 (助産院勤務助産師)
江角二三子 (日本助産師会事務局長)
増田美恵子 (日本助産師会事務局職員)

3. 今後の事業の進め方

1) 検討会について

検討会は日本助産師会で開催する。

- ① シナリオ検討会は2回(6月5日、7月3日)行う。
- ② ビデオ撮影検討会と修正検討会是一緒に行う。
- ③ 応募ビデオの審査は藤井氏に依頼する。
- ④ 編集内容の検討は途中で行う。その際にアンケートの検討も行う。
- ⑤ 編集結果の確認と今後の普及検討会を一緒に行う。

2) ビデオ撮影について

- ① ビデオ撮影は基本的に京都で行う。

- ②一般の方にホームビデオの募集も行う。
- ③予算の関係上、ビデオ制作会社に撮影を依頼する期間は1週間とする。
- ④ホームビデオを活用して撮影期間を短縮する。最近のホームビデオは画像がよいので、出産後の場面などはホームビデオで撮影し、よい場面を選んで上手に編集する。
- ⑤ビデオ制作会社にホームビデオの撮り方を文書で教えてもらい、京都の撮影者に渡す。また、プロ用のカメラを貸してもらおう（貸出料無料）。
- ⑥予めいくつか場面を撮影してプロに見てもらおう。
- ⑦次回の委員会までにポイントとなるシーンが撮れるように、京都でできるだけホームビデオの撮影を行う。

3) 報告書

ビデオ及び報告書は7000部作成し、支部、行政、関連団体等に配布する。

4. ビデオ（DVD）について

1) コンセプトについて

母子のコミュニケーションの中でも、専門家が見ると意味のある場面がある。母子の絆を示す場面を画像できちんと切り取ることで、家族や一般の方にもインパクトのある映像となり、専門家の専門性も上がる。母子の身近にいる助産師だからこそ感じることでできる母子のコミュニケーション場面を撮影し、解説を加えることで、母親が児とのコミュニケーションを自然に身につけられるようなビデオとする。

- 2) 対象者 : 妊婦と褥婦及び0歳児（幼児は対象にしない）
- 3) 作成教材：ビデオではなくDVDとする。
- 4) 時間 : 約30分を目安とする。

<第2回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時 : 平成19年7月3日（火）10:00～12:00

場所 : 日本助産師会2階研修会

出席者：菅沼副委員長、加藤副委員長、渡辺、長谷川、岡田、越山、藤井、江角、増田
11:00～12:00 ビデオ制作会社の出席2名あり

欠席者：岡本委員長

書記 : 増田（事務局）

報告

（菅原副委員長より）

- 1. 遠野（わらべ歌）に交渉に行ったが、ビデオ使用の了承を得られなかった。
- 2. ビデオ制作会社よりビデオを借り受け、委員が撮影を開始した。

議事

- 1. 前回議事録の確認
- 2. シナリオの内容検討

- ①前回の意見を参考に場面を並べ替えた。
- ②生まれたての赤ちゃんの場面から始め（ビデオの意味を伝える）、赤ちゃんに焦点を当てる。
- ③2（渡辺先生のコメント）の前に、3（出産直後の早期接触）、4（入院中の赤ちゃん）、5（母子同室）の場面をまとめる。
- ④1（クローイング）の場面は、19（赤ちゃんの意識が冴える姿勢）の前に入れる。
- ⑤今後、撮影して、映像をみながらシナリオを修正していく。

3. 今後のスケジュール

1) 撮影について

- ①予算上、撮影日数を減らし、撮影スタッフは最小限の人数で行う。
- ②10月第1週の上曜日を中心とした4日間に関西の撮影を行う。
- ③渡辺先生の撮影は会議時に行う。

2) ビデオ編集について

- ①撮影した良い場面は自分たちの感性で切り取り、編集者任せにしない。
- ②菅沼副委員長がビデオ制作会社で第一段階のビデオのふるいわけ（絶対使わないものを捨てる）を7月中に1回行う。

3) 公募について

- ①以下の2場面のビデオを公募する。
 - ・お母さんと赤ちゃんが向き合って話しているところ
 - ・はいはいする赤ちゃん、よちよち歩きをする赤ちゃん
- ②ビデオの主旨をよく説明し、ボランティア（謝礼はなし）で、京都新聞の紙上で公募する。
- ③ビデオは返却せず、この目的以外には使用しないことを明記する。
- ④8月末までにテープ又はDVDで応募してもらう。

4. その他

コンセプトの確認

「赤ちゃんに対する尊厳のある、インパクトのあるビデオ」とする。

<第3回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時：平成19年10月1日（月）10:30～17:30

場所：日本助産師会4階会議室

出席者：岡本委員長、菅沼副委員長、長谷川、岡田、江角、増田、ビデオ制作会社2名

欠席：渡辺、藤山、越山

書記：増田（事務局）

議事

1. DVDに使用する映像の選定（第1回目）

*ホームビデオで撮影した映像の中から、以下の場面の映像を選定した。

妊娠中：妊婦健診

出産前後：家族の関わり、初回授乳、出産後の母児、わらべ歌、母性的没頭

家森先生と新生児・2ヶ月児：姿勢のポイントの説明、腹臥位、追視、微笑

3ヶ月児：電車を見る、絵本を見る、腹臥位

おんぶ：台所、散歩、盆踊り

愛着（1歳）：動物園

2. 今後のスケジュールの検討

1) 京都での撮影 10月5日（金）

11:00～12:00 ベビーマッサージ（京都府助産師会）

15:00～ 佐古先生のコメント、池田先生の説明、実演（あゆみ助産院）

2) 東京での撮影 10月18日（木）

15:00～16:00 早乙女先生コメント撮影

16:00～17:00 渡辺先生コメント撮影（予定）

3) DVDに使用する映像の選定（第2回目）

10月26日（金）、29日（月）、30日（火）のうち、ビデオ制作会社の都合の良い日程とする。

3. 次回委員会

10月18日（木） 10:30～15:00

次回スケジュール

10:30～12:00 DVDタイトル、アンケートなどの検討

13:00～15:00（予定）撮影ビデオ検討会

*この時点までに撮影したビデオの試写を行い、検討する。

<第4回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時：平成19年10月18日（木）10:30～19:00

場所：日本助産師会 4階会議室

出席者：岡本委員長、菅沼副委員長、加藤副委員長、渡辺、長谷川、岡田、江角、増田

13:00～19:00 ビデオ制作会社の方2名

欠席者：越山、藤井

書記：増田（事務局）

報告

（ビデオ制作会社より）

1. これまでの撮影について

京都での撮影は10月5日に終了した。

2. 講師コメントの撮影予定について

10月18日 14:00～15:00 渡辺久子先生
15:00～16:00 早乙女智子先生
16:00～17:00 菅沼副委員長または岡本委員長

議事

1. 前回議事録の確認
2. DVDタイトルの検討
「赤ちゃんとの楽しいふれ愛～母と子の豊かなコミュニケーションのために」に決定。
前編：新生児編、後編：乳児編とする。
3. 10月5日撮影分の内容検討
 - ①試写を見ながら、必要な映像を決定し、テロップやナレーションを決定。
 - ②新生児の抱き方は、人形ではなく本物の児で撮りなおす。
 - ③おんぶの実演は帯の当て方が不安定なので、同じ児で撮りなおす。
4. 評価アンケートの検討
 - ①アンケート案に基づいて検討し、設問を修正。
 - ②DVDを使用するまでには至らないため、活用状況の把握ではなく、活用予定を尋ねる。
 - ③FAXではなく、郵送で返信してもらう。
5. 本日撮影の内容確認
渡辺先生、早乙女先生、岡本委員長の撮影を予定通りに終了し、内容を確認。
6. 今後のスケジュール
来週中：撮りなおし場面の撮影
1月上旬：ナレーションを入れる（ナレーションには立ち会う）
2月中旬：DVD納品

<第5回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時：平成19年11月20日（火）10:30～16:00

場所：日本助産師会 4階会議室

出席者：岡本委員長、菅沼副委員長、加藤副委員長、渡辺、長谷川、岡田、江角、増田
ビデオ制作会社の方2名

欠席者：越山、藤井

書記：増田（事務局）

議事

1. 前回議事録の確認
2. 編集内容の検討
テロップやナレーションの検討を行い、修正。
3. 前回からの取り直し分の検討
 - 1) 抱っこについて

撮影内容の重複部分を整理。

2) おんぶについて

おんぶひもの完成場面、兵児帯の台所場面、家庭菜園の場面を採用。

4. 10月18日撮影分の内容検討

インタビューの撮影は非常によい内容だった。

5. DVDジャケットの検討

- ①表にはイラストではなく写真を入れる。
- ②次回写真を持ち寄り、その中から選択する（三好氏にも写真の貸出を依頼する）。
- ③ジャケットの中に入れる説明書も次回までに考える（岡田、長谷川、岡本）
- ④ジャケットの裏面に入れるDVD内容や協力者なども次回までに考える。

6. 評価アンケートの確認

アンケートは次年度に行うことにする。

7. 今後のスケジュール確認

- | | |
|-----|--|
| 12月 | 最終試写、最終シナリオ決定（5回ビデオ作成検討委員会）
ジャケット決定 |
| 1月中 | ナレーション録音立ち会い |
| 2月 | DVD完成、発送予定 |

<第6回ビデオ作成検討委員会議事録>

日時：平成19年12月17日（月）10:00～15:30

場所：日本助産師会 4階会議室

出席者：岡本委員長、菅沼副委員長、加藤副委員長、長谷川、岡田、越山、藤井、江角、増田、ビデオ制作会社の方2名

欠席者：渡辺

書記：増田（事務局）

議事

1. 前回議事録の確認
2. シナリオ・撮影分の最終内容の検討
 - ①事前に配布されたシナリオに基づいてテロップとナレーションの表現を検討。
 - ②越山委員に授乳場面を見てもらい、テロップとナレーションを修正。
 - ③試写を観ながら、ナレーションとテロップの最終的な追加、修正。
 - ④岡本委員長のコメントの追加撮りは28日に決定。
 - ⑤DVDのテロップには出演者の詳細な肩書きは入れず、出演者、協力者は別に記載。
 - ⑥出演者、協力者の氏名、肩書きなどは12月28日の文字入れまでに確認。
 - ⑦ラストクレジットは12月28日までに確認。
3. パッケージの検討

1) ジャケット表面について

- ①三好氏の写真は高額のため、貸出の依頼ができなかった。
- ②候補の写真を持ち寄ったが、その中からは表紙の写真を決めできなかった。
- ③顔ではなく、母の手を乳児が握っている写真を今週中に撮影する。

2) ジャケット裏面について

- ①裏面の写真はビデオのカット写真を使う。
- ②リーフレットの予算がないため、ジャケット裏面に DVD の目的などの説明を入れる。
- ③裏面に入れる DVD 内容や協力者などは 12 月 28 日までに確認する。

4. 今後のスケジュール確認

12 月 28 日 : 文字入れ

1 月 8 日 : ナレーション (17:00 人形町のスタジオにて)
マスターテープ完成

1 月 10 日 : ジャケット完成

2 月中旬 : コピー完了 → 発送

5. その他

報告書の作成について検討。

< 第 7 回ビデオ作成検討委員会議事録 >

日時 : 平成 20 年 1 月 8 日 (火) 17:00~21:00

場所 : STUDIO GLAD

出席者 : 岡本委員長、長谷川、岡田、増田、ビデオ制作会社の方 2 名

欠席者 : 菅沼、渡辺、加藤、越山、藤井、江角

書記 : 増田 (事務局)

議事

- 1. ナレーション吹き込み立会い
- 2. 音楽挿入立会い
- 3. 吹き込み内容検討及び修正立会い

4) 制作スケジュール「赤ちゃんとのふれ愛」

(DVD 製作スケジュール)

6 月	第 1 回ビデオ作成検討委員会
7 月	第 2 回ビデオ作成検討委員会
10 月	第 3 回ビデオ作成検討委員会 撮影 VTR 検討会 京都撮影打ち合わせ 京都撮影

11月	第4回ビデオ作成検討委員会
12月	第5回ビデオ作成検討委員会
1月	音楽、ナレーション録り マスターテープ、メニュー画面、チャプター画面データ確認 DVD検証盤による映像及び動作確認 DVDプレス開始
2月	DVDプレス完了

(ナレーション及び音楽ミックススケジュール)

月	内容
11月	[最終試写及び最終シナリオ決定] ・メニュー画面 ジャケットデザイン案 確定
12月	[最・最終試写及び最・最終シナリオ決定] ・メニュー画面 ジャケットデザイン案 確定 ・音楽打ち合わせ
1月	1月10日 ジャケット、レーベルのデザインデータ提出 ジャケット印刷開始 1月中旬 ナレーション録音、音楽ミックス作業 マスターテープ完了 1月20日 DVDコピー開始
2月	2月中旬 DVDコピー完了

5) 作業経過

日時	作業内容
平成19年6月5日	第1回ビデオ作成検討委員会
15日	A氏に囁語の取材依頼(岩手県遠野市、不成功)
18日	あゆみ助産院に撮影依頼。カメラ預ける。
20日	あゆみ助産院 妊婦の集い撮影
22日	B氏宅訪問、おんぶ撮影依頼、兵児帯貸し出し、おんぶ練習
26日	C氏妊婦健診撮影
30日	D氏から生後1年5ヵ月間のホームビデオ届く
7月3日	第2回ビデオ作成検討委員会
9日	E氏出産・授乳撮影
	京都新聞社に“まちかど”へホームビデオ公募投稿
14日	E氏出産撮影、F氏出産撮影

17日	産褥の生活撮影
18日	京都新聞社に“まちかど”へホームビデオ公募再投稿
23日	京都新聞社訪問ホームビデオ公募依頼
	聖ヨゼフ整肢園にて、家森先生と撮影打ち合わせ
24日	G氏出産ケア撮影
26日	G氏産褥ケア撮影
27日	B氏宅撮影、京都新聞社取材
28日	G氏産褥ケア撮影
8月9日	京都新聞社に、今回の撮影に関する記事掲載
10日	めばえの会代表に面会し、9月例会で家森先生の撮影依頼
24日	KBSラジオ出演し、ビデオ作成計画とホームビデオ募集
9月1日	めばえの会にて家森先生の指導場面撮影、H氏・I氏出演依頼
9日	J・K氏の授乳場面撮影
12日	L氏宅で3ヶ月撮影
13日	L氏宅で寝返り場面撮影
21日	あゆみ助産院院長・職員との撮影打ち合わせ
22日	M氏の抱っこ撮影
10月1日	第3回ビデオ作成検討委員会
4日	ベビーマッサージ会場下見、担当助産師と打ち合わせ
5日	京都助産師会館にてベビーマッサージ撮影
	あゆみ助産院にて院長と池田助産師撮影
7日	N氏授乳場面撮影（越山助産師指導）
18日	第4回ビデオ作成検討委員会
24日	あゆみ助産院でO氏母子の抱っこ撮影
31日	B氏宅にて兵児帯おんぶの手順撮影
11月9日	B氏宅にておんぶ紐の手順撮影
12日	P氏宅にて新生児のうつ伏せを撮影
20日	第5回ビデオ作成検討委員会
12月17日	第6回ビデオ作成検討委員会
1月8日	第7回ビデオ作成検討委員会
10日	ジャケットデザインの確認
22日	マスターテープ、メニュー画面、チャプター画面最終確認

3. 【ビデオ（DVD）作成シナリオ】

1) 「赤ちゃんとの楽しいふれ愛」 新生児編

2) 「赤ちゃんとの楽しいふれ愛」 乳児編

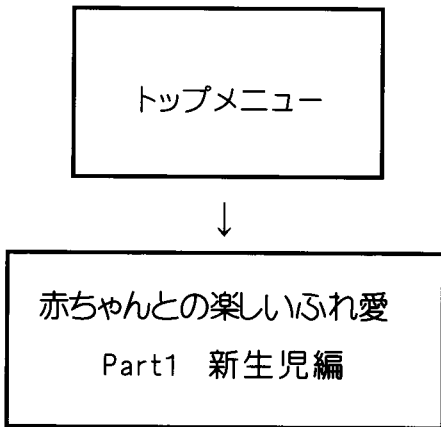
『赤ちゃんとの楽しいふれ愛』 ① 新生児編

十七分三十秒【シナリオ完成稿】

映像

タイトル画面

ナレーション



① 妊婦健診

(二分)

※太字はテロップです。

●あゆみ助産院 待合室

助産院

●院長外来 中村夫妻

- ・ 血圧を測る左古院長
- ・ お父さん発言
- ・ 院長、お腹に触る

●母子健康手帳



(女性ナレ・あたたか、親しみ)

出産予定日間近の中村さんが、夫婦で、助産院の妊婦健診に訪れました。

【現場音】

■赤ちゃんからのメッセージありますか？
お母さん「いつもしやべってる…喜んで動く」
お父さん「話しかけるとボンと返事みたいなものが…」
先生「横を向いてくれてありがとう」

そろそろ、赤ちゃんがお産の準備を始めているようです。

この日の母子健康手帳には、
「お母さんのお腹の中は気持ちいい？と聞いてたら、ポン！と合図で応えてくれたのでうれしかった…。」赤ちゃんとの確かな交流が書きとめられています。

② 出産と産後

(三分五十秒)

● 松井さんのお産

- ・ 家族で囲むく姉が母の汗を拭く
- まもなく元気に出産！

- ・ お母さんが声かけて泣きやむ

● カンガルーケア

● お母さん、赤ちゃんに語りかける

● 初回授乳

初回授乳

● わらべ歌を歌う母を

見つめる赤ちゃん

● 赤ちゃんを覗き込むお母さん

赤ちゃんへの惚れ込み

産後二日

● 左古院長のコメント

あゆみ助産院

左古かず子院長

家族が見守っている中で、松井さんがまもなくお産を迎えようとしています。

：お父さんも間に合いました。

出産直後の母と子のふれあい…、カンガルーケアの抱き方です。お母さんの肌のぬくもりと心臓の鼓動が、直接赤ちゃんに伝わりま

す。

お母さん「お父さんをよく待っててくれたね。ありがとう

赤ちゃんは、お腹の中で声を聞いていたお母さんだとわかるのでしょね。

おばあちゃんのびっくりした声

「すごいな！何で、まだ五時だよ」

妊娠中に、よくわらべ歌を歌って聞かせていたお母さん…、赤ちゃんはじつとお母さんを見つめています。

お母さんは飽きることなく我が子を見つめています。この時期のお母さんは、まるで巣籠り現象のように、赤ちゃんに没頭していた気持ちになることがあります。まわりの人達がそれを助けてあげると、赤ちゃんの世話を通して、お母さんらしい気持ちが高まっていきます。

■ 助産院のモットーは？

院長「お母さんと赤ちゃんの二人に話しかける。お母さんはあらためて赤ちゃんを実感、自分も声をかけるようになる…」

③ 渡辺先生

(二分)

● 渡辺先生のコメント

慶応大学医学部小児科常勤講師

渡辺久子先生

④ 赤ちゃんの気持ちに寄り添う抱き

(五分四十秒)

● 子を抱くお母さん

(ベビーマッサージ会場で収録)

● 清藤さん (お父さん) と大ちゃん

■ ビデオの目的

お腹の中から交流していても、赤ちゃんがなぜ泣くのかわからないこともしばしばあります。お乳やおむつ以外に、不安や興奮で泣くのをなだめるには、抱っこをして赤ちゃんの気持ちにしっかりと寄り添ってあげましょう。そのためにいろいろな抱き方を参考にしてください。

清藤さんのお父さんが、大ちゃんをなかなかなだめられません。

助産師の声掛けで、やっと落ち着かせることができました。このような抱き方は、赤ちゃんがとても安心します。

● 池田容子助産師

お母さんに抱っこ指導
二人の雰囲気の間

縦抱き

・声のトーンについて

マザーリーズ：赤ちゃんに呼びかける

抑揚のある高い声

● お母さんの横抱き

横抱き

・母子の見つめ合い

● 抱っこのグループショット

(ベビーマッサージ会場収録)

一ヶ月後、清藤さん親子が健診にやってきました。大ちゃんは大きくなりました。

お母さんが助産師に抱き方の相談をしています。

池田助産師： 縦抱きの指導

こんどは、お母さんが横抱きをしてみました。

思い思いに気持ちを重ねる親子…。

“抱っこ”は、赤ちゃんとの一体感が得られる有効なコミュニケーション手段です。

⑤ 授乳

(四分)

越山茂代助産師

お母さんにアドバイス

生後八日の、いちほちゃんの授乳です。
授乳はなんといっても、赤ちゃんの生活の中心。その授乳がお母さんにとっても楽しい幸せな時間になっているでしょうか。

越山さん：授乳のポイント解説

- 【授乳時の抱き方・含ませ方】ポイント
- ① お腹（胸）をぴったり合わせる
 - ② 後ろにもたれる
 - ③ 大きな口を開けたら引き寄せる

授乳時の抱き方・含ませ方のポイントです。
お母さんと赤ちゃんの、お腹とお腹をぴったり合わせましょう。
お母さんは後ろにもたれて、リラックスしましょう。

赤ちゃんが大きな口を開けたら、引き寄せます。

● 添い寝

自信がなかった添い寝に挑戦です

赤ちゃんがお乳を探しています。

坐って授乳している時と同じように、お母さんと赤ちゃんの、お腹とお腹をぴったり合わせましょう。

赤ちゃんにおおいかぶさらないように気をつけて…。

・お母さんを見つめる赤ちゃん

授乳時間はリラックスタイム

お母さんが楽な姿勢を保ちましょう

疲れた時や夜などに、こうした楽な姿勢もある

ので試してみましょう。そのまま眠ることもできます。

⑥ 早乙女先生

(一分)

神奈川県立汐見台病院 産科副科長

早乙女智子先生

■エンディングも兼ねて

● 協力クレジット

● ラストクレジット

母と子のコミュニケーションを図る育児用ビデオ パート②

『赤ちゃんとの楽しいふれ愛 ② 乳児編』

十九分四十秒【シナリオ完成稿】

映像

タイトル画面

トップメニュー



赤ちゃんとの楽しいふれ愛
Part2 乳児編

ナレーション



①岡本先生よりパート2の紹介（1分）

※太字はテロップです。

●パート2を簡潔に紹介する

社団法人日本助産師会

岡本喜代子副会長

■パート2の紹介

② 赤ちゃんの力を引き出す方法（六分）

● 家森先生 運動姿勢のポイント

聖ヨゼフ医療福祉センター副施設長

家森百合子先生

体の軸をまっすぐにしてあげることが

3ヶ月までの大切な課題です

● 家森先生と新生児（井上よう君）

生後十六日のようちゃん

【体の軸をまっすぐにする姿勢】ポイント

- ① ヒザにのせ、足の裏を合わせる
- ② 頭が反らないように支える
- ③ 正面から名を呼ぶ
- ④ 目が合ったら、ゆっくり横に移動

● 新生児のうつぶせ写真 三面割り

新生児のゆうごちゃん

【うつぶせ】ポイント

- ① 頭が重いので、お尻を低く
- ② 腕を肩幅に寄せる
- ③ 必ず大人が見ている

うまくできたゆうごちゃん

うまくできました！

【うつぶせ】ポイント

- ① 新生児の頃から一日数回

先生「四ヶ月検診で何かおかしいと感じる赤ちゃんは、体の軸が曲がっていることが多い。それを真っ直ぐにしてあげることが三ヶ月までに必要…」

生後十六日のようちゃんです。

赤ちゃんの体の軸をまっすぐにする姿勢を紹介します。

家森先生の実演・解説： 体の軸をまっすぐにする

体の軸をまっすぐにする姿勢のポイントです。

お母さんのヒザに乗せ、赤ちゃんの足の裏を合わせましょう。

頭が反らないように支えます。

正面から名前を呼びましょう。

目が合ったら、ゆっくり横に移動します。

生後十三日のゆうごちゃん。赤ちゃんは一ヶ月を過ぎると、お乳以外で泣くことが多くなるので、うつぶせ遊びはとても役に立ちます。これは、呼吸や哺乳、運動機能などの発達にも有効です。

うつぶせのポイントです。

頭が重いので段差を少しつけて、お尻を低くしましょう。

腕を肩幅に寄せます。

必ず大人が見ているようにしましょう。

うまくできました。ここで、きっと家族の歓声があがります。

うつぶせは新生児の頃から、一日数回行いましょう。

泣いたり、眠ったらやめましょう。

●二ヶ月のそうちゃん（石黒そうし君）

- ・先生と
- ・喃語を誘う高い声

【下に寝かせて話す場合】ポイント
まっすぐ向き合い、目を見て話かける

【散歩や食卓を囲むときの抱き方】

ポイント

- ① 大人と同じ方向を見るように抱く
- ② 片手でお尻を支え、他の腕で体を支える
- ③ 赤ちゃんのヒジを前に

③ 日常生活でのコミュニケーション

（一分四十秒）

●三ヶ月のそうちゃん

母の膝でお話しくお話いっぱい

●絵本を見る

黄色のひよこで興奮する

●屋外の歩きく電車を見に行く

再び先生から赤ちゃんとの、いろいろな関わり方を聞きました。

そうちゃんは二ヶ月。

この頃になると顔を見て笑い、アーウーの喃語が出てきます。

実演、解説：下に寝かせて話す方法

下に寝かせて話す場合のポイントです。

赤ちゃんともっすぐ向き合い、目を見て話しかけましょう。

実演、解説：散歩や食卓を囲む抱き方

散歩や食卓を囲むときの抱き方のポイントです。

大人と同じ方向を見るように抱きましょう。

片手でお尻を支え、他の腕で体を支えます。

赤ちゃんのヒジを前に出して支えましょう。

三ヶ月になったそうちゃんは、とてもよくお母さんの表情を読み取ります。そして、答えてくれる人に、こんなにいっぱいお話しています。

絵本も大好き…。

黄色いひよこが気に入っているようです。

外はわくわくする未知の世界…。

そうちゃん、じつと電車を見送っています。

散歩を始めた一ヶ月頃とはだいぶ変わってきました。

④ おんぶ

(二分)

四ヶ月

● 台所と外おんぶ：夏のあきちゃん、秋のあきちゃん、畑の三面構成でおんぶのイメージ

● 台所で仕事中 母の話

【おんぶのポイント】

- ① 首が坐ってから
- ② 脇に帯を通して高い位置に背負う
- ③ 足はしっかりと開く
- ④ ずり落ちないように注意

● 兵児帯

● おんぶ紐

● あきちゃんをおんぶして畑仕事
気持ちよく寝てしまったあきちゃん

● 七ヶ月のりゅうちゃん
(根岸りゅうた君)

・ おんぶで盆踊り
くケラケラ笑い続ける

赤ちゃんは、目覚しく発達する時期と、その後が続く訳もなくむずかる時期を、何度もくり返しながら成長します。こんな時、お母さんの背中と一緒に行動できるおんぶは、二人にとって、とても嬉しい方法です。

■ どうしておんぶするのですか？

「おんぶをしたらラクチン、ラクチンです」

おんぶのポイントです。

首が坐ってから始めましょう。

赤ちゃんの脇に帯を通して、高い位置に背負います。

赤ちゃんの足はしっかりと開きましょう。

固定するまでは、ずり落ちないように注意しましょう。

おんぶのための紐にもいろいろあります。

発達に応じて使い分けましょう。

こうした作業の時にも、おんぶは便利です。

あきちゃん、いつのまにかお母さんの背中
で夢の中…。

七ヶ月のりゅうちゃんのお母さんが、おんぶをして盆踊りの稽古をしています。りゅうちゃんが随分喜んでいきます。一緒に踊りに行くのが楽しみです。

⑤ ベビーマッサージ (四分二十秒)

● ベビーマッサージ会場 助産師の説明

大田 祐子 助産師

ベビーマッサージ

- ・赤ちゃんに向かい合い目を合わせましょう
- ・おしゃべりしたり、童謡や好きな歌を歌いながらできます

こんな時はマッサージを控えましょう

赤ちゃん：機嫌が悪い時

お母さん：心配や不安がある時

イライラしている時

- ・ブランコく服を脱ぐ、キスしたり
- ・手アップく足のマッサージ

・ベビーマッサージの様子

・さまざまな親子

く気持ちよい赤ちゃんの顔

くお母さんのアップなど

・さまざまな交流場面

・大田助産師のコメント

ベビーマッサージの会場です。一ヶ月から一歳頃までの赤ちゃんがいます。

ベビーマッサージは母と子の、とてもよいコミュニケーション手段のひとつです。

(先生「オイルを塗ってください」)

触れることは親子関係を育てるうえで、欠かせない重要な表現です。子供を満ち足りた気持ちにさせ、親自身も幸福感を感じるよい機会となります。

マッサージをする間、たえずアイ・コンタクトをとり、話しかけたりすることで、親密な関係を築き、親子の絆を深めます。

家で二人でもできますが、こうして会場に出かけて、大勢の親子と交流することもとても楽しいことです。

■ 始めたねらい

⑥ 大人への確認 (二分三十秒)

- アンプを触る二人
- 「こんにちは」するミルちゃん
- 体重計が気に入ったゆうと君

● ペットボトルを蹴るゆうと君

● 以上の三カットを三面割り

大人への確認

(ソーシャル・レファレンシング)

● 「頭撫で撫で」で、小さい子の頭を突く？ゆうと君

お母さん「優しく、優しく、…」

● 動物園遠景

● 一歳四ヶ月のりゆうちゃん

安定型愛着

⑦ 渡辺先生

(二分)

● 渡辺先生のコメント

慶応大学医学部小児科常勤講師

渡辺久子先生

● ラストクレジット

ゆうと君とミルちゃんです。
「こんにちは」をするミルちゃん。
ゆうと君は体重計にとっても興味を持っていますが、ちよつと気にして大人の顔を振り向きました。

こんどは、ペットボトルを足で蹴って遊び始めました。ふだん、お母さんがスリッパなどを足でよけるのを見て、それを真似するようになったそうです。

この時期、子供はいろいろなことをしながら、身近な大人に、振り返って相談します。この確認行動をソーシャル・レファレンシングと言い、この時、大人にあたたく見守られる体験が社会性を育みます。

ゆうと君、撫でる動作はできないのですが、触り方がやさしくなつて、小さい子への配慮ができました。

背中で盆踊りを楽しんでいたりゆうちゃんは一歳四ヶ月…、家族で動物園に来ています。

初めて見るヤギが怖い様子…、お母さんに促されます。
お母さんを信頼しきつているので、大変な冒険もできました。

■ まとめ

※エンディングを兼ねて